

# Talk Event

2021 11.14 sun 13:30 → 15:00

## 「名古屋の文学土壌と 地元書店の役割について」

名古屋市内の書店員の方々に、名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞受賞作家や作品、またこれからの時代へ向けた地元書店の在り方や発信方法などについてお話いただきます。

会場 文化のみち二葉館 1階大広間 ※入場無料(要入館料)  
定員 30名 ※10月26日(火)10:00~ 文化のみち二葉館に電話申し込み  
●新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止または変更になる場合があります

## 古田一晴 × 佐藤文宗 × 古賀詩穂子

【古田 一晴(ふるた かずはる)】

ちくさ正文館書店本店・店長  
名古屋市出身。大学在学中からちくさ正文館書店本店にてアルバイトをはじめ、1978年に入社。“名古屋に古田あり”と謳われる名物店長。

【佐藤 文宗(さとう たけむね)】

市内のとある書店・人文書担当  
名古屋市出身。2011年に大手書店に入社。2018年、現在の店舗へ異動。入社より一貫して人文書を担当。

【古賀 詩穂子(こが しほこ)】

TOUTEN BOOKSTORE・店主  
愛知県出身。出版取次、本屋の企画運営を経て2021年に「TOUTEN BOOKSTORE」を開業。



大島真寿美  
『渦 妹背山婦女庭訓魂結び』  
(文藝春秋)



小谷剛『確証』  
(改造社)



城山三郎『総会屋錦城』  
(文藝春秋新社)



諏訪哲史『アサツテの人』  
(講談社)

名古屋で子供の頃を過ごした第4回芥川賞の富澤有為男や、名古屋に医院を開業し、戦後初の第21回芥川賞を受けた小谷剛をはじめ、名古屋出身で第40回直木賞の城山三郎、第161回直木賞の大島真寿美など、昭和から現在にいたるまで多くの郷土ゆかりの作家が芥川賞、直木賞を受賞しています。中には、文芸だけでなく幅広いジャンルで活躍している作家もいます。今回の展示では、後進の作家に影響を与えた富澤有為男、小谷剛、城山三郎、連城三紀彦、そして現在も話題作を執筆する大沢在昌、諏訪哲史、大島真寿美の諸氏を中心に、名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞受賞作家の受賞作や代表作などについてご紹介します。

# 作家展

# 名古屋ゆかりの 芥川賞・直木賞

主催・お問い合わせ 文化のみち二葉館  
【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地 Tel&Fax 052-936-3836  
<https://www.futabakan.jp/>



「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」を利用してご来館の方は入館料割引!  
一般200円→160円



交通のご案内  
●なごや観光ルートバスメール「文化のみち二葉館」下車  
●市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分  
●基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分  
●地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分  
●名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分  
※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



2021  
10.8 fri. → 11.14 sun.

時間 10:00~17:00 ※月曜休館  
会場 文化のみち二葉館 2階展示室5  
入館料 一般200円 中学生以下無料(各種減免あり)  
後援 中日新聞社  
協力 ちくさ正文館書店本店、TOUTEN BOOKSTORE  
七五書店、名古屋市立鶴舞中央図書館  
名古屋市立東図書館